

### 食物

#### テスト方法の説明

<b>7</b>		<b>レベル7 常食 RG7</b> 特記すべきテスト方法なし	発達や年齢に応じ、様々な物性で日常的に摂取する食事。噛み切る力や噛む力が必要。
<b>EC7</b>		<b>レベル7 容易に噛める (食品) EC7</b>	発達や年齢に応じ、柔らかい物性のみで日常的に摂取する食事。噛み切る力や噛む力が必要。
<b>6</b>		<b>レベル6 やわらかい一口大の食品 SB6</b> 食品一かけらの大きさ (一口大) は、成人は1.5cm×1.5cm以下、幼児や小児は8mm×8mm以下とする。フォークで押し潰すテストでは、サンプルは完全に潰れ、形が戻らなくなる。	柔らかく、一口大の大きさで、全体的にしっとりしているが、液体が食物から離水したり、垂れたりすることはない。咀嚼能力が必要。
<b>5</b>		<b>レベル5 しっとりしたミンチ状の食品 MM5</b> 成人は4mmの粒子サイズ、乳児や小児は2mmの粒子サイズ。スプーンの上で形を保つ。スプーンを傾けたり、軽くたたいたりすると簡単に落下する。固くべたついたものではない。	非常に柔らかく、小さく水分を含む塊で、最小限の咀嚼能力は必要。
<b>4</b>		<b>レベル4 ピューレ状の食品 PU4</b> フォークの上で食塊形状を保持できる。フォークの歯の間から垂れたり、連続的に滴り落ちたりしない。スプーンの上で食塊形状を保持できる。スプーンを傾けたり、軽くたたいたりすると簡単に落ちる。固くべたついたものではない。	粒がなく、べたつかず、咀嚼不要な滑らかな物性。スプーンで摂取可能。
<b>3</b>		<b>レベル3 液状食品 LQ3</b> シリンジテストでは、試料がシリンジから流れて10秒後にシリンジに残った量が8ml以上ある。フォークの歯の間から繋がった状態でゆっくりと滴りおちる。	スプーンで摂取、またはコップで摂取可能。ゆっくりと、フォークでは滴り落ちるので摂取不可。太いストローで飲むには努力を要する。

トランジショナルフード (物性が変化する食品)

固形の物性を持つ食品が、濡れたり温まったりすると別の物性に化するもの。最小限の咀嚼能力は必要。

#### トランジショナルフードの食品テストの方法

1. 1.5cm×1.5cmの試料に水1mlを加えて1分待つ。
2. その後、IDDSIフォーク押しテストを実施する。

#### フローテストの方法

0-10mlのメモリまでの長さ=61.5mm

1. シリンジからピストン棒をはずす。
2. シリンジの先を指で押さえ、10mlまで試料で満たす。
3. 指を筒口から離し、タイマーをスタートさせる。
4. 10秒後に(指を戻して)止める。

#### テスト方法の説明

#### 食品のテストの方法

<b>4</b>	<b>ピューレ状の食品</b>	
<b>4</b>	<b>濃いとろみの飲料</b>	
<b>5</b>	<b>しっとりしたミンチ状の食品</b>	
<b>6</b>	<b>やわらかい一口大の食品</b>	
<b>EC7</b>	<b>容易に噛める (食品)</b>	

<b>4</b>	<b>レベル4 濃いとろみの飲料 EX4</b> フォークの上で食塊形状を保持できる。フォークの歯の間から垂れたり、連続的に滴り落ちたりしない。スプーンの上で食塊形状を保持できる。スプーンを傾けたり、軽くたたいたりすると簡単に落ちる。固くべたついたものではない。
<b>3</b>	<b>レベル3 中間のとろみの飲料 MO3</b> シリンジテストでは、試料がシリンジから流れて10秒後にシリンジに残った量が8ml以上ある。フォークの歯の間から繋がった状態でゆっくりと滴りおちる。
<b>2</b>	<b>レベル2 薄いとろみ状の飲料 MT2</b> シリンジテストでは、試料がシリンジから流れて10秒後にシリンジに残った量が4-8mlある。
<b>1</b>	<b>レベル1 極薄いとろみ状の飲料 ST1</b> シリンジテストでは、試料がシリンジから流れて10秒後にシリンジに残った量が1-4mlある。
<b>0</b>	<b>レベル0 液体 (とろみなし) TNO</b> シリンジテストでは、試料がシリンジから流れて10秒後にシリンジに残った量が1ml以下である。

### 飲料/液体